



県立学校における教職員の働き方改革を進めるための具体的な取組



～ 将来にわたり持続可能な学校をつくる10の提案 ～

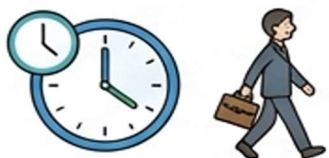


1 学校の経営方針、
評価・育成シート
への盛り込み



学校経営方針に位置付け、
評価・育成シートにも業務
改善の視点を反映し、組織
的に進める。

2 定時退勤日、最終
退勤時刻の設定



定時退勤日や最終退勤時刻
を設定し、勤務時間を意識
した働き方を進める。

3 時差出勤制度の
活用



時間外勤務が見込まれる場
合に活用し、勤務時間を調
整して時間内に業務を行う
体制を整える。

4 部活動による
長時間勤務の
削減



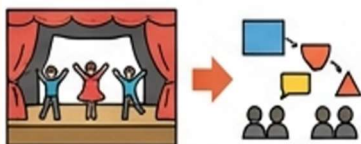
活動時間や休養日を適正化
し、複数顧問制や部活動指
導員等の活用により負担軽
減を図る。

5 職員朝礼の回数
削減、SHRの
時間設定等の工夫



職員朝礼の回数やSHRの
時間設定等を見直し、日課
全体の効率化を図る。

6 学校行事や各任
意団体における
研究大会等の
見直し



学校行事や研究大会等の在
り方を見直し、精選・簡素化
を進める。

7 教材の共有、
校務 DX



教材や指導資料の共有、校
務のデジタル化を進め、業
務の効率化を図る。

8 2学期制の導入、
定期試験の回数削減、
学習の総括的評価の
回数削減



定期試験や通知表作成等の
回数を見直し、事務負担の
軽減を図る。

9 特別休業日の
設定



特別休業日を設定し、休暇
を取得しやすい体制づくり
を進める。

10 在宅勤務制度の
試行



在宅勤務制度を試行し、新
たな働き方の可能性や課題
を検証する。